

Sonica DAC の活用(9)

—DSD 録音(1)—

1. はじめに

[前報\(8\)](#)までは、主として Sonica DAC の再生について報告してきましたが、今回は、Sonica DAC の再生音を録音してみることにしました。

2. Sonica DAC の録音と試聴方法

音源は BZT9000 の BS 録画とし、Sonica DAC の S/PDIF に入力して DA 変換し、DA-3000 に入力して、2.8MHzDSF のフォーマットで録音します。5.6 MHzDSF としなかった理由は、ネットワーク再生の上限が 2.8MHzDSD のためです。なお、録音時には GPS-777 から DA-3000 に 44.1KHz のクロックを入力します。

3. Sonica DAC の録音と試聴結果

録音した 2.8MHzDSF 音源の SD カードメモリーを DA-3000 から取り出し、①そのまま SD カードメモリーリーダーに挿しこんで Sonica DAC の USB ポートから再生、②SSD にコピーして Sonica DAC の USB ポートから再生、③FIDATA HFAS1-S10 にコピーして再生を行いました。その結果、いずれのルートでも再生可能でした。特に、②SSD にコピーして再生、③FIDATA にコピーしての再生は音質も良く、BZT9000 からの 48KHzPCM の元音源の再生より、2.8MHzDSF 音源の再生は、GPS クロックを入れて DSD 録音しているため、元音源を上回っているくらいです。また、BZT9000 からの再生は BZT9000 の内蔵 HDD からの再生ですが、②SSD にコピーして再生、③FIDATA にコピーしての再生は、SSD からの再生ですので、静寂感があります。

さらに、FIDATA から Sonica DAC に USB 直結で DoP 伝送で再生すると、上記の LAN 経由より、迫力と生々しさがでできます。

4. まとめ

BS 録画を Sonica DAC の S/PDIF 入力して DA 変換し、DA-3000 に入力して、2.8MHzDSF のフォーマットで録音したものは、①SD カードメモリーリーダー、②SSD、③FIDATA HFAS1-S10 のいずれからも再生可能で、これまでの録音よりグレードが上がっていました。

以上